

関西支部・部品4委員会合同委員会 新春特別講演会

関西支部の部品運営委員会および部品3専門委員会（新分野・異業種研究、一般部品、変成器）は、1月22日（月）に大阪の中央電気倶楽部にて合同委員会ならびに新春特別講演会を開催しました。

澤村部品運営委員長年頭挨拶

合同委員会では、部品運営委員会の澤村 諭 委員長（ローム（株）代表取締役社長）より「年頭挨拶」として講演をいただき



ました。「直近の各所の統計によると、2017年の世界経済は前年比+3.8%、18年も+3.9%が見込まれます。17年10月の電子部品出荷は+12.4%、同月の半導体も+21.9%でした。セットや自動車も堅調、設備投資も活発な中、17年の電子部品世界生産は24.2兆円（+9.2%）、日系は9.16兆円（構成比37.8%）。18年も世界3.8%、日系4.3%の拡大が見込まれます。

車載関連は24年までにxEVとADASが大きく伸びます。内燃機関車の規制強化で、ドイツ3社もEV化に舵を切り、今後も2桁成長が続くでしょう。自動運転ではアウディが17年10月にレベル3を発売、GMは19年にレベル4を量産、BYTON（中国新興OEM）もCESでレベル3を発表する等、取り組みが進んでいます。ADASの搭載率は20年に生産台数の6割に近づきます。センサーでは、カメラ、ミリ波レーダー、超音波に3D LiDARが加わり、金額も拡大します。

今年のCESで、ロームはSiCの車載インバータ（重量6kg、体積43%削減）を出展、搭載車は「フォーミュラE」で2位に入賞しました。世界最速パルス制御電源ICや、機能安全に対応するコックピット用チップセットも好評

を得ました。トヨタのモビリティプラットフォーム事業進出が話題を集める等、今後もxEVと自動運転の流れに注目する必要があります。』

JETRO大阪本部・曾根本部長ご講演

続いて、日本貿易振興機構（JETRO）の曾根一朗 大阪本部長より「日系企業の対米投資の現状と第4次産業革命に伴う新



たなビジネス」と題する講演がありました。同氏は米国駐在が長く、2013年から4年間はシカゴ事務所長として「デトロイト3」（GM、フォード、クライスラー）と日本企業の連携強化等、先端製造業における日米企業の関係強化に尽力された方です。

「日本は製造業・R&Dで最大の対米投資国で、日本の技術・サプライヤーなしに米国製造業は立ち行きません。JETROでは近年、日系サプライヤーと自動車大手を結ぶ“本社商談会”を行っています。デトロイト3が技術分野を指定し、JETROが納入候補先を探る仕組みで、研究開発・生産部門に直接アクセスでき、多くが成約に至ります。

米国のGDPは中国の1.7倍、日本の3.8倍（16年）、輸出は13年以降4年連続で世界最大。景気拡大は8年にわたり、個人消費も堅調です。日本の対米直接投資は08年比で約8割増。在米日系企業による直接雇用は86万人に上り、製造業の雇用は国別で最大、R&D投資もG7中で最大規模です。日系企業では、グローバル戦略の一環（特にR&Dや輸出の拠点）として進出するトレンドが強まっています。

シカゴのある中西部は日系企業が多数進出し、ペンズ副大統領（元インディアナ州知事）、ハガティ駐日大使（元



テネシー州経済開発長官) はじめ、多くの幹部がその貢献を評価しています。「ものづくり」の価値観が日本と共通しており、そこから「KIZUNA」が生まれる、等の発言もあります。]

最後には、今後の米国ビジネス拡大に向けたアドバイスとして、①R&D連携では地方の有力大学にも注目、②製造拠点は全米各州に広がっている、③米国企業とのビジネス開拓には、現地人の責任者に日本人が同行する体制が重要、とのコメントがありました。

終了後の懇親会も含めて情報交流が行われ、有意義な会となりました。



産業技術総合研究所 関西センターにおける バイオメディカル関連の取り組み

関西支部運営部会は、3月7日(水)に開催した3月度会合に、産業技術総合研究所 関西センターより4名の講師を迎え、標記テーマの講演を行いました。

産総研ならびに バイオメディカル研究部門等の概要

最初に、バイオメディカル研究部門の大西芳秋 副部門長より概要の説明をいただきました。「産総研では2015年からの第4期中期計画で、産業界に技術を橋渡しする機能の強化に



向け、戦略的な組織再編・融合を進め、民間からの資金獲得・出資額の3倍増をめざしています。関西センターのバイオメディカル研究部門では、創薬支援、医療ケア、生物生産を3本の柱に据え、生物生産については、「日本オリジナルのゲノム編集技術確立」を目標に取り組んでいます。また、大阪医薬品協会と共催で「関西バイオ医療研究会」を組織する等、ネットワークづくりにも注力しています。」

JEITA関連業界の皆様との こと作り(価値創出)連携

続いて、上席イノベーションコーディネーターの福井